

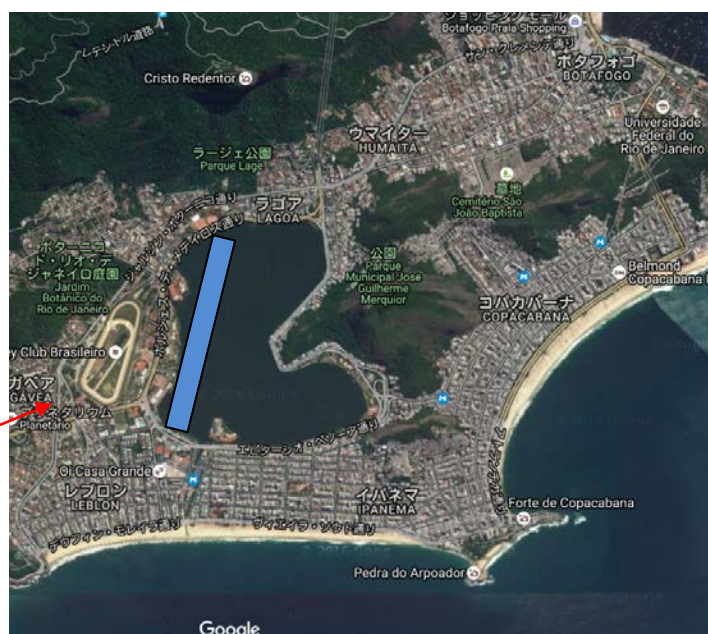
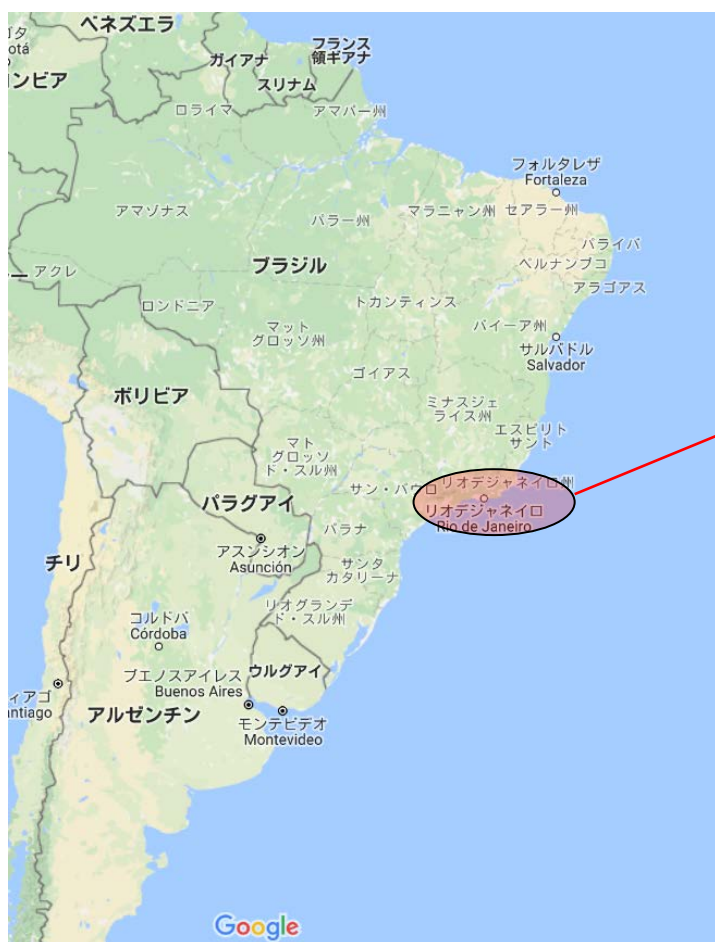


2016 Rio De Janeiro Olympic Games 参加報告

国際審判員 隈元幸治（神奈川県ボート協会）

1 はじめに

ブラジル・リオデジャネイロで開催されました、2016 Rio De Janeiro Olympic Games Regatta に F I S A 審判員として参加しましたので、大会参加に関する報告をさせていただきます。



2 大会概要

- | | | |
|-----------|-----------------------|--------------------|
| (1) 期 間 | 8月6日（土）～8月13日（土） | 14日は予備日 |
| 審判派遣期間 | 8月2日（火）～8月17日（水）の16日間 | |
| (2) 会 場 | リオデジャネイロ市 | コパカバーナ地区 ラゴア スタジアム |
| (3) 種 目 | 14種目（男子：8種目、女子：6種目） | |
| (4) 参 加 国 | 69ヶ国 | 550人 |



3 参加国際審判員 (20 名)

1085 ROMBAUT Patrick (FISA):PJ
 1465 ALUPEI Dorin (ROU)
 963 CHRISTOFFERSEN Lars (DEN)
 1517 DAUKANTAS Edmudas (LTU)
 1507 DE VITA ARRUDA Luciana (BRA)
 1185 DERRY Dave (CAN)
 1550 FRASER Phillip (AUS)
 1497 GARCIA MAYO Martha (MEX)
 1211 GOLOB Darko (SLO)
 1444 HAIDUK Olga (BLR)
 1472 JOLY Rejis (SUI)

1371 KUMAMOTO koji (JPN)

1243 NEIRINCKX Chantal (BEL)
 1505 LIU Dongxiao (CHN)
 1201 MEYBODEN Gerhard (GER)
 1553 MILNE Roger (NZL)
 1548 MULDER Allison (RSA)



1318 PAWLINETZ Wolfgang (AUT)
 1367 REILLY Jean (USA)
 1440 SAMIOU Niki (GRE)
 1098 WITTRANT Catherine (FRA)

4 担当業務

大会は、8 日間のレーススケジュールとなっていました。2 日目と 5 日目が、強風とそれに伴うコース施設の不具合が発生して、中止となりました。そのため、当初スケジュールが大幅に変更となりましたが、予備日を使用することなく、大会は終わることができました。

このあたりのF I S Aの的確かつ柔軟な大会運営には、毎回、流石だなと感じています。

私の担当業務は次のとおりでした。

8月 6日 Finish Judge → Umpire 6(*Zonal Umpiring)

8月 8日 Weighing Boat → Umpire 2(Zonal Umpiring)

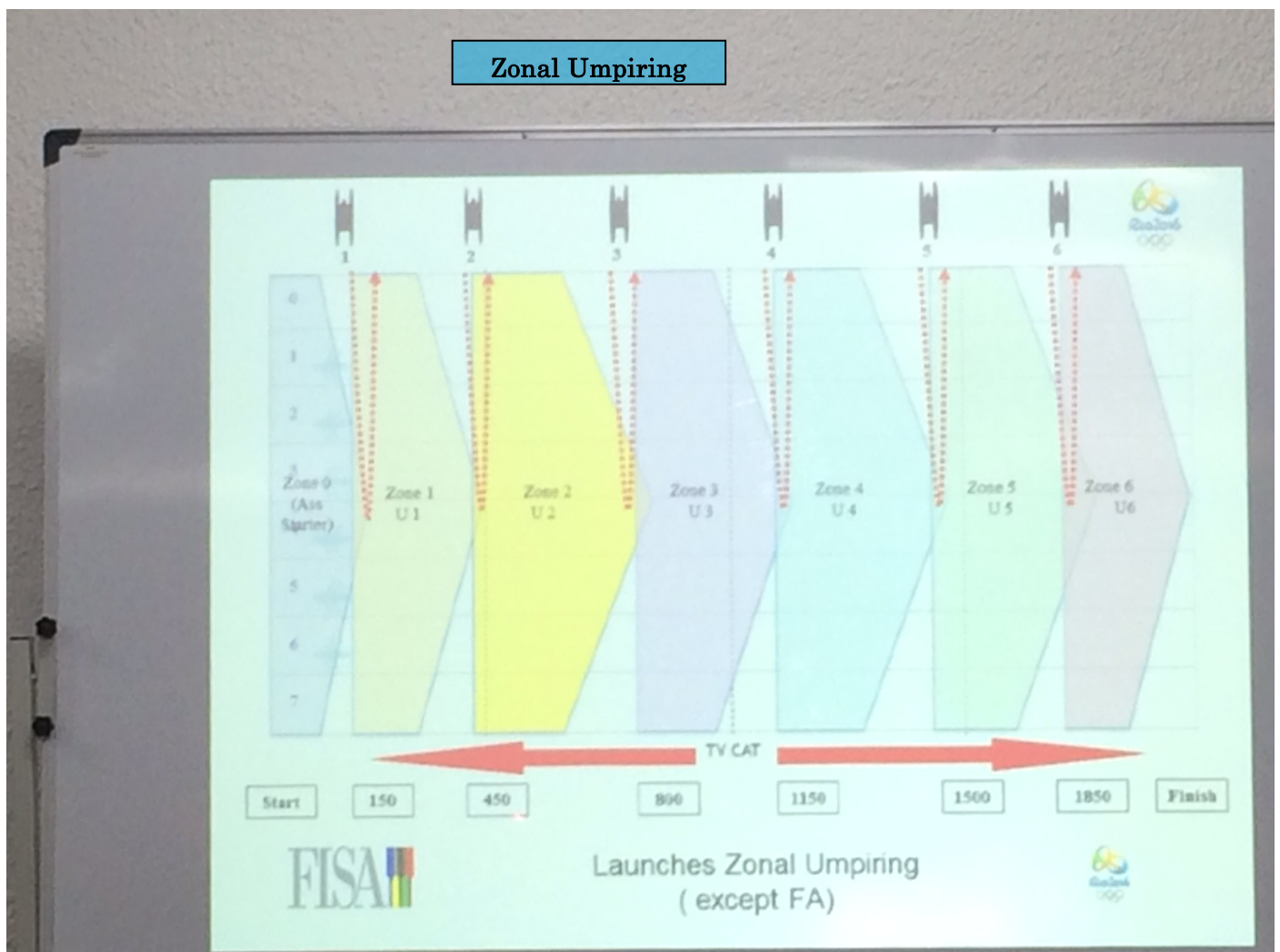
8月 9日 Control Commission

8月11日 Umpire 6 (Zonal Umpiring→ Final A LM4-:Dynamic Umpiring)

8月12日 Weighing Athlete

8月13日 Board of Jury

*Zonal Umpiring については、次のとおりです。



F I S Aの世界選手権大会では、2013年以降、レースにおける審判艇やカメラ艇からの曳き波によるクルーへの影響を可能な限り、少なくするために、Zonal Umpiring方式で主審業務を行っています。

今回のオリンピックでは、Final A以外のレースは、Zonal Umpiring で、Final Aは従来どおり、スタートからフィニッシュまで、レースを1つの主審艇が追行する方式 (Dynamic Umpiring) で行われました。

Zonal Umpiring 方式では、コース全体に6艇の主審艇が配置され、担当するゾーンにレースが進行し、すべてのクルーが通過した後、コース中央まで移動して、レースの状況を監視します。

担当するゾーンにおいて、接触等、何かトラブルが発生すれば、速やかにレースに追行して必要な対応・指示を行います。

仮にトラブルが生じて、Umpire 4がフィニッシュまでレースを追行した場合には、その他の主審艇は待機位置のローテーションを行います。

何ものなければ、次のレースに備えて、コース外の所定の待機場所へ移動します。なお、Umpire 6は、レース成立の白旗を上げることが必要なので、レース通過後、待機位置からコース中央に入り、950m付近までレースを微速で追行し、レースを成立させます。

レースにおけるトラブルへの対応は、無線機にて、各主審艇、審判長と連絡を取り合いながら、必要な判断を行うことになります。

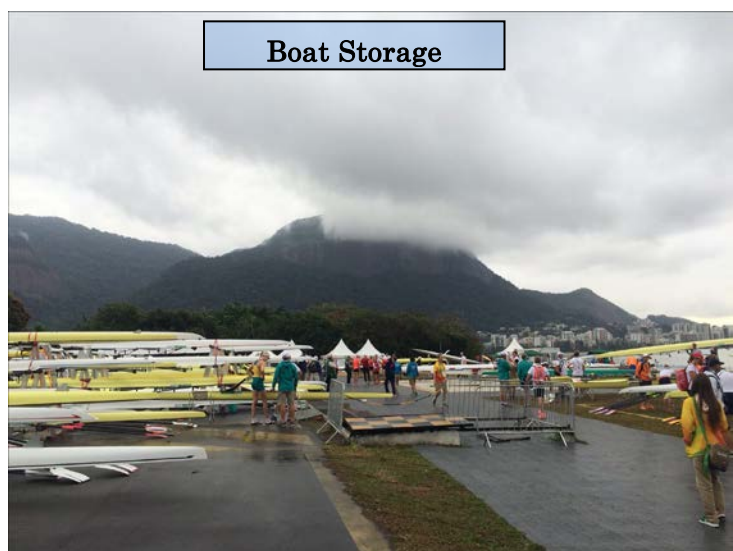
今回の大会では、M2-の予選で、SRBが沈して、救助する事態が生じましたが、担当するゾーンの主審艇が速やかに、現場に急行して、対応しました。

SRBのクルーは、救助されて、フィニッシュしませんでした。が、特例的措置でRepechageに進むことが認められ、Final Bまで進み、最終順位は10位でした。

Zonal Umpiring 方式について、FISAルールへの規定追加が検討されているようで、2017年2月に東京で開催されるFISA臨時総会での議題になるかもしれません。

5 会場施設等の概要

会場施設は、以下の写真のとおりです。





Athlete Weighing



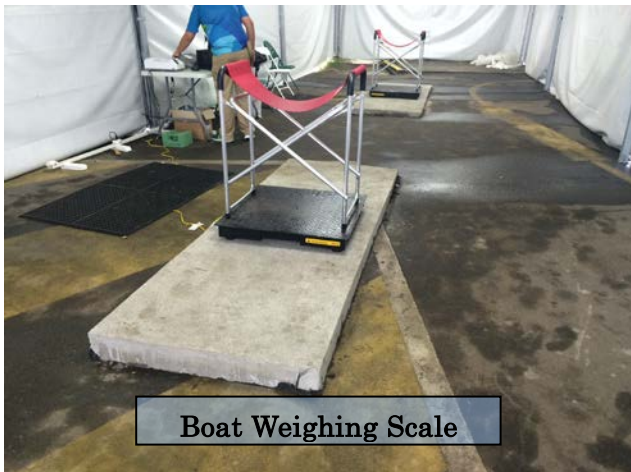
Athlete Weighing (Test Scale)



Athlete Weighing Waiting Room



Boat Weighing



Boat Weighing Scale



Boat Weighing Printer



Bow Number & GPS



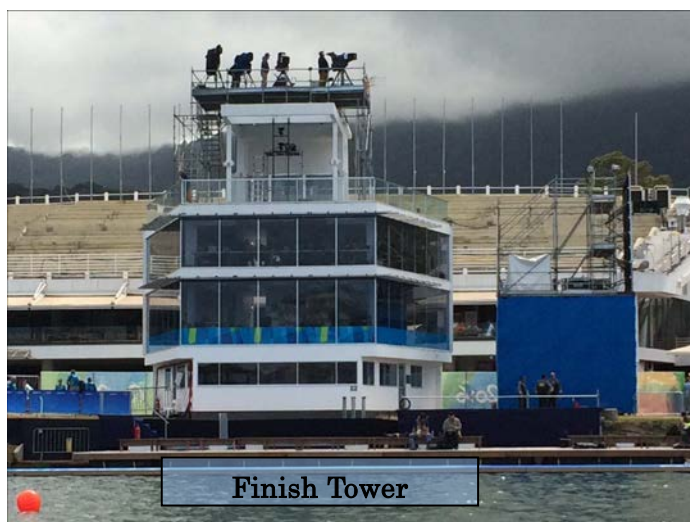
Display (Speed)



Display (Time)



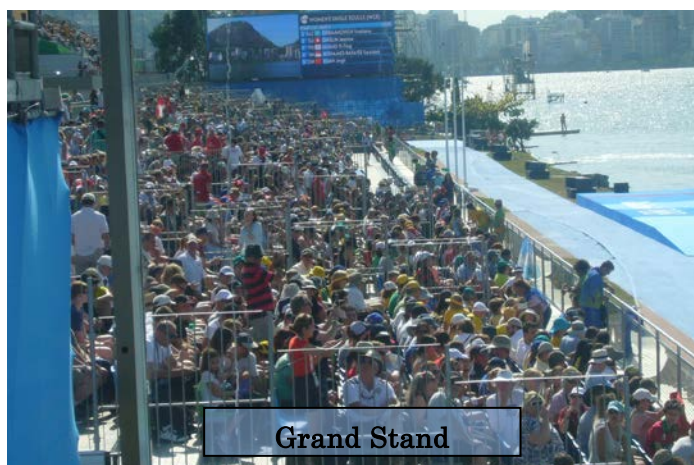
Shoes Box (Volunteer)



Finish Tower



Finish Line



Grand Stand



Finish Area



Rescue Boat



Umpire Boat



Training Room (Watt Bike)



Training Room (Ergo)



6 Photo Finish について

M1×の Final Aにおいて、1着、2着が同タイムながら、着順が付きまして。以下、写真に示すように、タイムは1／100秒単位で標示することになっており、同タイムです。しかしながら、Photo Finish Cameraは、1／1000秒まで計時することができる精度のものであり、1／1000秒単位では、差があるとの判断で、着順が決定されたものと思います。

このようなケースは、FISA国際審判員試験でも、よく問題として出されます。

- ① 同タイムで同着のケース ② 同タイムで着順あり

Lagoa Stadium
Estádio da Lagoa
Stade de Lagoa

13 AUG 2016

Rowing
Remo / Aviron
Men's Single Sculls
Single-skiif masculin / Un de couple - hommes
Final A
Final A / Finale A

7

(Event)

Results
Resultados / Résultats

M1x
FA
Race 141

World Best Time:	NZL	DRYSDALE Mahe	Poznan (POL) 2009	World Championships	6:33.35
Olympic Best Time:	BEL	MAEYENS Tim	London (GBR) 2012	Olympic Games	6:42.52

Rank	Lane	NOC Code	Name	500m	1000m	1500m	2000m	Total Rank	
1	4	NZL	DRYSDALE Mahe	1:40.16 (3)	3:21.55 (3)	5:01.26 (1)	6:41.34 (1)	(1)	OB
				0.99	1:41.39 (2)	1:39.71	1:40.08 (3)		
				1.61					
2	5	CRO	MARTIN Damir	1:39.17 (1)	3:19.94 (1)	5:02.06 (2)	6:41.34 (2)	(2)	
					1:40.77 (1)	1:42.12 (3)	1:39.28 (1)		
						0.80			
3	3	CZE	SYNEK Ondrej	1:39.52 (2)	3:21.12 (2)	5:02.64 (3)	6:44.10 (3)	(3)	
					1:41.60 (3)	1:41.52 (2)	1:41.46 (4)		
				0.35	1.18	1.38	2.76		
4	6	BEL	OBRENO Hannes	1:41.41 (6)	3:24.94 (5)	5:07.39 (5)	6:47.42 (4)	(4)	
					1:43.53 (4)	1:42.45 (5)	1:40.03 (2)		
				2.24	5.00	6.13	6.08		
5	2	BLR	SHCHARBACHENIA Stanislav	1:40.98 (4)	3:24.64 (4)	5:07.04 (4)	6:48.78 (5)	(5)	
					1:43.66 (5)	1:42.40 (4)	1:41.74 (5)		
				1.81	4.70	5.78	7.44		
6	1	CUB	FOURNIER RODRIGUEZ Angel	1:41.20 (5)	3:25.26 (6)	5:08.21 (6)	6:56.90 (6)	(6)	
					1:44.06 (6)	1:42.95 (6)	1:47.69 (6)		
				2.03	5.32	6.95	14.56		



7 大会を支えるNTO（National Technical Official）とボランティア

オリンピックや世界選手権などの大きな大会では、FISAのITOや国際審判員の他に、多くのNTOやボランティアの活動なくしては、大会の円滑な運営はできません。

2020年東京オリンピックでも、長期間の大会におけるNTOやボランティアの人材確保が課題です。

リオ・オリンピックでは、私の国際審判員仲間（セルビア、ドイツなど）がボランティアとして参加しており、英語の通訳やNTOの補助員として、献身的な活動を行っていました。



このように、海外からのボランティアが数多く参加・活動していることに、驚かされるとともに、彼らからは、2020東京オリンピックにも、ぜひ参加したいとの意向が示され、あらためて、オリンピックの魅力を感じたところです。

また、国際審判員とともに審判業務などを行うNTOですが、主要な部署には、隣国のアルゼンチンのFISA審判員などが担当していました。これは、ブラジルのFISA審判員は9名ですが、かれらが組織委員会の主要な部署を総括する職務を担当していたためでした。

8 参加国際審判員等への Diploma・medal の授与

大会に参加した国際審判員などITOに対して、IOCのバッハ会長と組織委員会会長の両名から、Diploma と記念 Medal が授与されました。



9 他競技の観戦

審判員など、大会参加者には、I D (Accreditation Card)が発行され、その役割に応じて、入場できるエリアが限定されます。私たち、ボートの審判員は、ボート競技エリアや観客席などに入ることができますが、各 I F に O C から数量限定で発行される U P G R A D E P A S S により、その他の競技も、オリンピックファミリー エリアでの観戦ができました。

期間中、2日間、パスの割り当てを受け、1日目は柔道・体操を、2日目は女子マラソン、陸上男子 100m 準決勝・決勝を観戦しました。

さすがに、空席が目立った観客席も、ボルトの走りを見るために、スタンドは満員となっていました。実際にボルトの走りを見ることができて、貴重な経験でした。

10 終わりに

今回のオリンピック参加にあたりましては、日本ボート協会大久保会長、木村理事長、千田国際委員長、上野審判委員長など、多くの方々のご指導・ご支援をいただき、実現したものであり、大変、感謝しております。この場を借りて、御礼申し上げます。

リオ・オリンピックが終わり、次は 2020 年東京オリンピックです。

開催にあたっては、会場整備や運営組織の立ち上げ、運営人材の確保など、多くの課題があります。

これらの課題解決に対して、今回の経験をもとに、微力ではありますが、貢献していきたいと考えています。